

地域の皆様、新年あけましておめでとうございます。広島市議会議員のくわた恭子です。昨年引き続き本年もどうかよろしくお願い申し上げます。リーマンショックの副作用に端を発した、底の見えない100年に一度と言われる未曾有の経済不況、派遣社員の大規模解雇、ひいては税収の減少など、深刻な影響が出ています。影響は今後、ますます大きくなると予想されます。このような世の中の状況と鑑み、従業員の勤務時間15分の時間短縮の議案は、形を変えて給与アップであり、コスト増を招く議案であると質疑しました。従業員の給与や勤務の質疑をするのは、いつも私ぐらい、今回も同様でした。しかし、今回は世の中の経済状況があまりに悪いため、議会が議案に慎重になりました。結果、賛成23、反対31で否決することになりました。広島市で従業員の給与関係の議案を否決したことは無いとのこと。全国的にも少ないのでは、「人件費削減」の公約を一つ形にできなかったのと、少しうれしく思います。



## 市は他人事…「雇用問題は国、県の仕事」

労働問題、雇用問題につきましては、本市の事業としてではなく、国、県の事業として整理されています。これらについては財源もないため、現在直ちにできる、これをするという事は難しい問題であると考えています。（一般質問 答弁より）

今回の12月議会、一般質問において、かつて無い経済不況、マツダの派遣労働者の大量解雇を背景に多くの議員が、広島市としての雇用対策が必要ではないか、中小企業支援対策はどのようになっているのかの質問が続きました。上記は、雇用対策についての答弁です。雇用対策についての質問の冒頭には必ず「国、県の事業」であることを述べましたので、繰返しこの答弁を聞きました。確かに制度上そのようになっています。重ねて雇用対策をすることは二重行政ということにもなるのかも知れませんが、本当にこれで良いのかと答弁を聞きながら思いました。丁寧な言葉を並べても、結局、何もしないと聞かれました。

### 来年度の税収見込みは大幅減

国の来年度予算財務省原案が、報道されています。景気後退で税収が落ち込むため、穴埋めのための新規国債を33兆円発行とあります。広島市の来年度の税収は、1月末に確定しますが、現在の段階で **約60～70億円の税収減**の見込みです。

(12月現在での予測)

市民税	▲約1億2千万円	減収
法人市民税	▲約56億円	
固定資産税	▲約9億円	増収
タバコ税	▲約4億円	
事業所税	約2億円	

やはり景気の後退で、法人市民税の落ち込みが際立っています。

### 広島市経済危機対策本部を設置 今後の動きに期待したい

12月19日急きょ、市長を本部長とする「広島市経済危機対策本部」が設置されました。10時から幹部会議室で開かれるとの事でしたので、傍聴に行きました。多くの報道陣が詰め掛ける中始まりましたが、会議時間はわずか20分、セレモニーの会議でした。各幹部の報告の中で、災害対策用の市営住宅7戸を提供することや、来年度の臨時職員の採用を前倒して採用することを検討しているなどの報告がされました。議会中の答弁からすると少し進歩したように思いますが、まだまだこれからです。期待したい。

### 不況はダイレクトに生活保護申請に影響

12/19現在のマツダ関連の生活保護申請は26件、支給決定が17件マツダ以外の申請が2件という状況です。マツダ関連の失業は、失業と同時に住居がなくなるので生活保護になるケースが多いとのこと。景気のよし悪しはダイレクトに生活保護申請に影響が出るとのこと、今年度生活保護申請の月平均は240件、昨年より20%増加です。

H19年度の場合/	年間相談件数	約5200件
生活保護申請	2461件/	保護決定 2232件

### 12/17市長記者会見でのコメント

雇用、住宅対策についての質問に「雇用に関連する施策は、国、県の所管事項と制度で決められています。失業者の人数等についても市レベルでは把握できない制度になっています。

### 年の瀬に困っているのに…迅速な対応ができないものか

砦築市や大分市は、既に、具体的な採用人数を示しています。砦築市の場合、早い職場は12月に西尾と行うとの報道に(内容)おはやい対応が、市民に安心をもたらすと言っています。広島県においてもマツダの派遣社員削減は1400人(のほり)です。関連会社を含めると数倍にふくまれるでしょう。100年に一度の経済危機です。7-7シェアリング(は)1つの方。広島市の年間53億円の時間外費用を臨時職員採用に振替るなら約1700人の雇用が創出できます。(300万円/年で試算)派遣法や企業の責任を言ってみても、最終的には、市税収入の減少、扶助費の増加という形で跳ね返ります。雇用対策は必要です。

## 湯来/恵下埋立地 環境評価

12月16日、湯来町恵下に予定している産業廃棄物最終処分場の 第1回環境影響評価委員会が、サンピアゆきで行われました。この日は、委員の現地視察がありましたので、無理に同行させてもらいました。

私には、普通のコケや葉っぱに見えるのですが、貴重な植物や生き物だと委員の方々が話しておられました。予定地の入口付近に行くと、大量のタイヤが不法投棄されており、かなりの量でした。

整備に反対の意見はどうかの質問には、広島湯来線の整備が進むのであれば受け入れるとの理解でいること。搬入物による、水質汚染、土壌汚染についての意見も出されました。資料によると埋立開始H32年、約30年間受け入れます。



整備が進むのであれば受け入れるとの理解でいること。搬入物による、水質汚染、土壌汚染についての意見も出されました。資料によると埋立開始H32年、約30年間受け入れます。

## こんな手紙を頂きました。ありがとう

- 「四葉のクローバーがありましたので送ります」と書き出してあります。封筒の中には、四葉のクローバーが押し花にして台紙に付けてありました。クローバーを見つけ、送ろうと思ってくださった気持ちがとても嬉しいです。しおりに使っています。内容は、太陽光発電の提案の話、電信柱にひまわり型の太陽光パネルを付けてはどうかと書いてありました。町中の電信柱にひまわりが付いたら楽しいなと思いながら読みました。最後に、ポチポチと頑張ってくださいませ。と結んでありました。心が和む手紙でした。
- 通信に載っているあなたの写真は議会のものばかりです。地域の中での写真があれば、もっとあなたらしさが出ると思います。・・・ご意見をうけて地域での写真を探したのですが、私の写っている写真は少ないのです。
- ゴミ処理、下水処理に関して、自身の経験から専門的な指摘を書いた手紙を頂きました。かなり詳しく書かれており、書かれるのが大変だったと思います。現在調査中です。

## 安全安心の街づくり 佐伯区民の集い

12/13佐伯区民文化センターで各学区の防犯ネットワークが集まって研修会が行われました。今回で3回目です。動員のかかるセルモニー色の強い研修ですが、結束を持続する効果はあると思います。3コースで歩くパレードがいい。



## 佐伯区民まつり

今回で第23回になる佐伯区民まつりが、11/9 佐伯区民文化センターで行われました。佐伯区コミュニティの行事の中で、もっとも区民が集う行事だと思います。私の役割は、区民まつり催事部です。ステージ発表とバザー、チャレンジコーナーをまとめて担当する部会で活動しています。結構忙しい部会ですがメンバーの協力がとても良い、また区の職員も一緒になってまつりを盛り上げるところが気に入っています。広島8区の中で祭りを継続しているのは4区だけです。やめたくないですね。



## 勤務時間短縮に追記

### 市長記者会見 時期をみて再提案

市長が今回の否決に対する考え方を記者会見で述べています。抜粋して記していきます。

マスコミの皆さんも議会もそうですが、職員が給与カットして、市の財政状況を良くするために努力したことは、褒めてあげてもいいのではないですか。そういうところは知らんふりして、今度時間が短縮されるとなると、とんでもないという話にして、それで、公務員と言うのは、公務員だけではありませんが、働く人というのは非常に苦勞をして、それで辛い辛いと言っていないと評価されないような立場なのでしょうか。

人事委員会制度そのものに問題があるのであれば、制度そのものを変えるべきであって、制度はそのままにして、その制度の結果として生じたことについて、制度と全く関係のないレベルでの批判をすることはおかしいと言ったつもりです。

給与のような重要な問題は慎重な制度全体のデザインを変えるための慎重な検討が必要です。それをせず今の現象に引きずられて制度についての変更ではなく、その結果を受けるべき人が、たまたま受ける人にプラスになるから、けしからんということで、カットするやり方をすると人事委員会制度そのものが崩壊します。社会全体に大きな問題を作り出すことになります。今回のこの決定が、即権力の濫用に当たるとは言いませんが、私としては、人事委員会の勧告をそのまま尊重していただくほうが、標準的な考え方だと思います。

財政非常事態宣言をH15年度に出し、現在も解消していません。会社が倒産寸前で 当前に給与を払っていないら倒産は早い。ほめてあげるのはいいと思いますが、民間では給与カットは当前のことです。とんぼ仕事も厳しいものです。p. 守りに職業

第1位は公務員です。給与労働条件も悪いです。人事委員会勧告を受けて、条例改正を議会に提案していい。提案して議案を議論すること批判と言われは困ります。勤務時間短縮を行うべきというは考えない。制度的にどうなっているかと述べています。市長としての判断も議会としての議決もいらないということではあ...

皆様の 意見を お待ちしています...

## ② 行政コストの増にならない具体的な方法を示してください？

給与を据え置いての時間短縮は、形を変えた3.23%給与アップです。15分という短い時間なので見落としがちですが、1時間だったらどうでしょう。8時間労働を給与を据え置いて7時間労働にして試算すれば分かることです。人事委員会も見直しに当たっては、行政コストの増を招かないようにと述べています。

### 答弁

職員一人ひとりが仕事の進め方を点検し、業務の効率化により、公務能率の向上に努める。昼休憩の窓口当番の時間やローテーションの見直しにより住民サービスを維持します。この旨を、職員に徹底してまいります。

具体的な。あ、これで効率化が進むんだ。といった内容のもではないか。再質問でも、やはり精神論のよな勤務時間が短縮しても、今以上に頑張り、無駄のない仕事をするといった内容でした。急ぎ12/2の統務委員会に答申が不十分だと追加資料が出された。例…ポイント絞った資料作り。電子メールのCC・BCCの活用など。この効率化の具体例？ こんなことも不当に出来ていないか… (この点、作った資料に3つ)

## ③ 勤務時間を短縮したら時間外勤務が増えるのではないですか

1人15分の時間短縮は、広島市全体(12000人)なら3000時間、375人分の仕事量です。誰かがどこかで、375人分の仕事をしなければなりません。当然、時間外労働が増えると思うのですが

### 答弁

勤務時間を短縮しても時間外勤務の増加にならないよう努めます。

### 時間外勤務は、当然、増えると思うのです

#### 時間外勤務手当当初予算額と決算額(全会計)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
当初予算	4,259,545	4,121,285	4,186,320	4,299,066	<b>4,629,216</b>	4月から休憩時間30分が
決算額	4,744,905	4,786,929	5,246,203	5,330,885	<b>5,250,909</b>	廃止されています。しかし
決算/予算	111%	116%	125%	124%	<b>113%</b>	時間外労働は、月0.8時間増
月平均時間	12.7	12.8	13.5	13.8	<b>13.8</b>	(前年と8月までの比較)

(予算・決算 千円)

これまで業務の効率化を図っても、市職員子育て支援プランで時間外労働の短縮を目標にしても、時間外労働時間は増加してきていますし、予算内で収まった年度はありません。稼働時間が実質30分増えた平成20年度についても増えています。平成21年4月から、勤務時間が7時間45分になれば、時間外労働はだれが考えても増えます。答弁からも減少する要素はありません。

13.8時間×12ヶ月=165.6時間(1人年間)  
165.6時間×全職員(12000人)  
198万7200時間  
52億5091万円÷198万7200時間  
**2642円(時間外賃金単価)**

### 15分が時間外労働になったら

15分は0.25時間、また3.23%単価UP  
0.25時間×20日×12ヶ月=60時間  
\*年間1人60時間残業が増えて225.6時間  
225.6時間×2642円×1.0323×12千人=約74億

**時短は約21億円のコスト増**

給与を据え置いての時間短縮は、それだけでコストの増です。職員は現在8時間、一杯働いているという状況です。当然、勤務時間の短縮は、時間外労働の増と見做す。今回の経済不況や無くなったとしても、民間と上回るような労働条件の厚過とおぼろげではありせん。

## 否決が波及 小さな一石が広がるか

12/7の中国新聞に「広島市議会否決の波及」マツダ協賛企業が多い坂町が3月議会提案の方針を転換して、マツダ城下町府中町と安芸高田市は「時期や提案するかどうか検討中」とあり、広島市が一番早い条例提案であったことや、否決がどのように波及すると思われなかったこと、読んでいて、素直にうれしかった。否決で折に時が流れ、この波紋がどこまで広がるかわからないけれど、行政は今回の否決を重く受け止めて欲しい。当前のように議案が通ると思わないで「負けてはい。議員も含めて公務員が思っていること知り 緊張感を持って仕事しよう。

提案予定	検討中	提案しない
尾道市	呉市・竹原市・三原市・安芸高田市	府中市
大竹市	三次市・庄原市・廿日市市・府中町	坂町
東広島市	福山市・江田島市・海田町・熊野町	
大崎上島町	安芸太田町・北広島町・世羅町・神石高原町	

## 期末手当の官民格差は均衡？

今回の人事委員勧告では、期末勤勉手当については民間4.52ヶ月：広島市4.5ヶ月でおおむね均衡していることから、据え置くことが適当とされました。この比較は、支給月数だけの比較で、支給額の比較ではありません。

民間	月例給×4.52ヶ月
公務員	月例給×1.2×4.5ヶ月
	(期末手当基礎額)

広島市職員の支給月数は条例で定めてあります。期末手当が3ヶ月、勤勉手当が1.5ヶ月となっています。が、公務員の場合、元になる給与は、期末手当基礎額と言い、一般職で最大20%増、管理職で最大25%増と加算されています。市職員の期末勤勉手当を月例給で割ったら、4.5ヶ月を大きく超えています。これは広島市だけのものではなく、国家公務員、県職員も同様に加算されており、条例で定められたものです。しかし、正しい比較にはなっていないと思います。今後、調べていきたいと思っています。

# 否決！勤務時間15分短縮は形を変えた給与アップです

## 広島市人事委員勧告

12月議会には、毎年、職員の給与改定や勤務時間など人事委員勧告に基づく議案が提案されます。今回の人事委員勧告は、給与の0.58%引き下げです。広島市職員の給与が、民間給与と比較して、0.58%2400円高いので引き下げなさいと言うものです。合わせて、人事委員会報告で民間の勤務時間が、一週間39時間6分となっており、市の40時間より短いので、見直しが適当と述べています。

15分の時短により、お昼の休憩時間が15分長くなります。休憩時間廃止で45分間になった昼休憩が60分に戻ります

8:30~12:00	12:15	~13:00	13:00~17:00	17:15
労働時間	休息	休憩	労働時間	休息

〇〇の休憩時間が平成20年4月から廃止された。今回の時短により、平成21年4月から昼休憩が12時~13時と元に戻る予定です。総務省が休憩廃止も通達した時から、時短は決まっていたのでは。だから労使交渉で退庁時間を据え置いたのだと思います。



12/10

時期が  
あるの  
9:30~9:45

職員の勤務時間15分短縮 第110号議案について、本会議で質疑を行いました。総務委員会で質問する方法もありました。全議員に聞いて頂いたので、本会議場で行いました。LFTに質疑の内容を記ほす。答弁に対して議場からヤジが多く飛せられました。よく聞き取れなかったのです。席後のヤジに聞きました。議場の反応が良くびっくりしました。

## ① 民間を上回る時間短縮をなぜするのですか？

### 人事委員会民間調査

H18年	39時間3分
H19年	39時間3分
H20年	39時間6分

(126事業所の平均勤務時間)

正社員50人以上の事業所556事業所中、136事業所が調査に協力、勤務時間については126事業所が回答しています。休日の曜日や、年間総労働時間の比較ではなく、平均的な1週間を調査した126事業所の平均の勤務時間です。

1週間の所定労働時間	適用従業員割合
38時間45分未満	27.3%
38時間45分	10.4%
38時間46~59分	10.8%
40時間	51.5%

左の表からもわかるように、民間調査で、週40時間勤務の事業所が過半数以上占めています。今回広島市が行おうとする38時間45分を下回っている事業所は、27.3%です。民間の平均勤務時間が38時間45分を下回っているのなら、市職員の勤務時間を短縮するのも良いでしょう。民間は、まだ39時間6分、21分も多く働いています。

### 答弁

前提として、市の人事委員会において、勤務時間の見直しを行うことが適当とされました。

- ①国において人事院勧告通り、勤務時間の短縮が実施されることになったこと
- ②本市を除く、他の政令市16市のうち10市が、時間短縮を行っており、残りの市も実施の方向であること。
- ③市内民間事業所の所定内労働時間が、市の勤務時間より短いので、時間短縮が必要と判断した。

国家公務員や地方公務員は、団体交渉権が認められていないため、代償として人事院及び民間の実態を調査し、給与や勤務時間について勧告をしています。政令市の人事委員会も国の勧告に沿うやり方としてきました。私は、人事委員会の官民比較には課題があると思っています。そのほか、ここでは触れませんが、人事委員会の勧告は尊重するが、前提ですが強制力はありません。国の人事院の方針にも強制力はありません。今回の勤務時間短縮は、勧告ではなく報告です。議案として提案するのの判断は首長が行います。この答弁は国の勧告や、人事委員会の勧告は財政状況や地域の経済状況は関係なく、その時議案にすると言っています。おしいでは？... 府中市は「地元の中企業に説明がつかない提案を見送っています。どちらか正論では？...



## 15分の時短はこうして否決... ホッとしました

本当に  
おもしろい  
と感動  
しています

12/11 夜、職員から昨日の質疑の答弁が不十分なので、追加資料を明日の委員会に提出したいと連絡「珍しいことですね、何かあったのですか」「いえ、丁寧に説明がしたいので」

12/12 総務委員会に修正案を提出 時間短縮は条例改正の議案です。関連する議案があったのでそれについても文言をそろえるため修正案を提案しましたが、検討する時間も無く否決。時短は賛成多数で委員会は可決しました。

討論の場  
出してから  
とこの伝書  
は、飛んできて  
討論を止めた  
ました。

12/15 本会議/採決の日です。各党派討議中の札がかかり定時に始まりません。調整/討議が行われます。40分遅れて開会。大会派が、時間短縮反対の討論を行いました。私も討論しました。大会派がまとめた形で議案は否決 ホットしました。委員会とは逆の結果です。

